

漢方内科外来が始まります

当院では松田知雄先生による漢方内科外来を開設いたしました。

松田先生は、漢方の大家、山田光胤先生に師事し東京の金匱会診療所で

漢方医学の研鑽を積まれ、日本東洋医学会認定漢方専門医を取得されています。

漢方内科外来について、ご不明な点がございましたらお気軽にご連絡ください。

漢方医学へのご招待

「漢方は効くわよ、子供の頃から悩まされたアトピーが漢方薬ですっきりきれいになった、漢方薬で持病の頭痛や肩こりが治った。」という話をよく聞きます。漢方が西洋医学より優れているとか、万能だというわけではありません。しかし西洋医学で治らなかった病気が治る、ということが確かにあります。それは漢方と西洋医学では病気に対する考え方が違い、治療法も異なるから。言い換えれば、漢方が得意とする病気があるからなのです。

◎漢方に向く病気

虚弱体質による病気・高齢者の病気・免疫異常の病気・アレルギー・心身症・自律神経失調症・更年期障害・神経症・自覚症状はあるが各種検査を受けても診断がつかない病気

◎漢方に向かない病気

西洋医学の効果が安全確実に期待できる病気・救急処置の必要な病気・手術適応のある病気

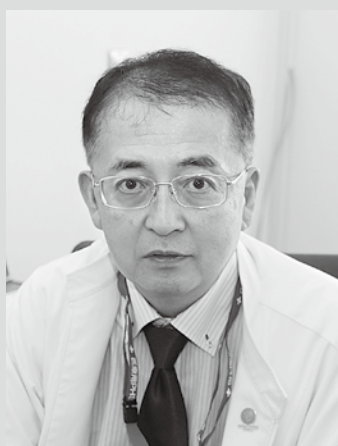
漢方薬は、症状を取り除くだけでなく、体のバランスの歪みを取り去ることでよって健康を取り戻そうとします。一般に漢方薬は、副作用がないと思われがちですが、それは間違いです。

漢方薬にも劇薬扱いになる強い薬（トリカブトなど）があり、そういった薬の処方間違えれば、副作用は当然起こります。しかし、患者さんの状態を細かく診て、それにあった処方をすれば副作用はほとんど起きません。自分の体に合った薬を飲めば、いろいろな症状が一度に解消されることもあります。

また、漢方薬は慢性的な病気に用いられることが多いため、即効性がないように思われていますが、必ずしもそうではありません。風邪（インフルエンザ含む）や子供の冬季嘔吐下痢症、筋肉けいれんなどでは、西洋医学より即

効することが多いのです。尚、現在の日本で使われている漢方は、もちろん中国から伝来（来伝）したのですが、現在中国で行われている中医学（中国の伝統医学）とはちよつと違います。日本の漢方は、長い年月をかけて数多くの名医たちが日本人に合うように工夫を積み重ねた日本独自のものです。

漢方薬による治療の場合、どの漢方薬を用いるかは、患者さんの年齢、体質や状態によります。漢方独特の診察法がありますので、漢方に詳しい医師・薬剤師によく相談して自分に合った漢方薬を決めてもらう必要があります。あなたによく効いた漢方薬が、症状が似ている、あるいは病名が同じだからといって他の人にも効果があるとは限りません。自分で判断せずに、必ず漢方に詳しい医師・薬剤師に相談して下さい。



Profile

医師

まつだ ともお
松田 知雄

昭和60年 久留米大学医学部卒業

久留米大学第二内科入局

平成元年 広島大学医学系研究科卒業
医学博士

日本内科学会認定内科医

日本東洋医学会認定漢方専門医